

学校給食(提供食)の放射性物質検査の結果について

検査方法

- ・学校給食で実際に児童生徒に提供した給食1食分を1週間ごとまとめて測定する。
- ・検体は毎日、小学校A1・中学校Aから採取を基本とする。

検査結果

<小学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和元年5月13日～5月17日 (5日分)	2870.00	5月17日	不検出 (<0.67)	不検出 (<0.58)

小学校A1 献立名

5月13日	ごはん 牛乳	牛肉とたけのこの煮物 シューマイ 中華サラダ
5月14日	黒パン 牛乳	ミネストローネ チキンカツ 海草サラダ
5月15日	ごはん 牛乳	わかたけ汁 かつおフライ ふきの炒り煮
5月16日	ソフトめん 牛乳	しょうゆ味 えび入りパオズ ブロッコリー
5月17日	ごはん 牛乳	酢豚 焼きかまチーズ おかひじきのおひたし

<中学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和元年5月14日～5月17日 (4日分)	2560.00	5月17日	不検出 (<0.45)	不検出 (<0.57)

中学校A 献立名

5月14日	ソフトめん 牛乳	たんめん味 米粉ぎょうざ 中華サラダ
5月15日	ごはん 牛乳	みそけんちん汁 メンチカツ すき昆布の煮物
5月16日	ごはん 牛乳	孟宗汁 さば照り焼き 野菜の磯香あえ 納豆
5月17日	こめ粉パン 牛乳	クリームスープ 白ごまフランクケチャップソースかけ 小松菜とツナのソテー

- 1 検査結果の()内は検出下限値です。
- 2 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
- 3 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
なお、検出下限は検体の種類や重量などの影響をうけるため、測定ごとに異なります。
- 4 検査を依頼している機関は山形県理化学分析センターです。
- 5 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法です。
- 6 食材内容については、「学校給食用食材の産地情報」で公開しています。

【参考】厚生労働省:24年4月からの放射性物質の新基準値 (単位 Bq/kg)

放射性セシウム	一般食品	100
	飲料水	10
	牛乳	50
	乳児用食品	50